

「若 mono アイデアコンペティション燕」 2017 受賞作品の試作品が完成！

－ 市内の開発企業の手で製品アイデアをいよいよ商品化－

学生や若手クリエイターの視点で製品アイデアを集め、市内の開発企業の手で商品化を目指す企画「若 mono アイデアコンペティション燕」。選ばれた製品アイデアの商品化に向けて、昨年 7 月から開発に取り組んできました。この度、2017 受賞作品の試作品が完成しましたのでご紹介します。今後も、商品化に向けた取り組みを進めます。

【製品アイデア紹介（写真：製品アイデア（左）、試作品（右））】

1. Calen-Bar（卓上カレンダー）

(1)クリエイター名：廣田 征雅 氏

(2)開発企業名：株式会社タケダ

(3)製品アイデア・試作品情報：

アルミの質感を感じながら毎朝カラーリングを動かす卓上カレンダー。

4 度の試作を重ね、今年秋頃の販売を目指して、パッケージを検討しています。



2. 野菜のすずり（おろし金）

(1)クリエイター名：岸 玄昌 氏

(2)開発企業名：株式会社ツボ工

(3)製品アイデア・試作品情報：

墨を磨るように野菜をおろせるおろし金。おろし金部分

をステンレス、本体部分をアルミ削り出しにて制作しました。

今後は、本体部分の樹脂成形や発色方法の変更にトライします。



3. 個性のある銅器（ぐい飲み）

(1)クリエイター名：杉 繁征 氏

(2)開発企業名：新潟精密鑄造株式会社

(3)製品アイデア・試作品情報：

持ち手は使い手自らがじっくりとくる角度や指の置き方を見つけるように無造作に大きく、飲み口は細かな鋸目がある鋸起銅器のようなぐい

飲み。ステンレスのロストワックス鑄造法（ロウを使った鑄造法）にて

制作し、ドイツ・アンビエンテに出展しました。間もなく販売を開始します。



本件についてのお問い合わせ先

産業振興部 商工振興課：竹田

電話：0256-77-8289（直通）